



	そうふうPartⅢ	学校教育目標
爽風	創造性にあふれ 心豊かでたくましく 生きる児童の育成	目指す児童像
発行者:校長 下地美和子	・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子 ・当たり前のことを一生懸命にやる子(凡事徹底)	
★しんけんにもちあじいかしてじぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小		

2学期もスタートし、日々の授業も起動にのってきました。下地小学校でも、専門の先生方がいらして、子ども達の指導や教育にあたり、子ども達の成長を図っています。

不審者の避難訓練を行いました。

不審者が突然学校に来たら？ を想定して、9月5日に不審者対応避難訓練を行いました。

先生方は不審者から子ども達を守り、安全に避難させるには？ 子ども達は、自分自身の命を守るためにどう行動すればよい？ を考え訓練しました。

テキパキと避難したのち、宮古警察署の大兼久さんがお話をしてくださいました。

日々、安全安心な学校を目指していますが、何かあった際は、「自分の命は自分で守る」という的確な行動がとれる児童の育成を今後も図っていきたいと思います。大兼久様、ありがとうございました。



体育の授業にて・・・

昨年度から、日本の離島地域における体育の授業の実践について研究している國學院大學の大矢隆二教授が来校しています。今年、NHKの「お母さんといっしょ」の新しい体操「からだ☆ダンダン」監修の巢立隆宏先生も来校し、2年生と3年生の体育の授業を行いました。

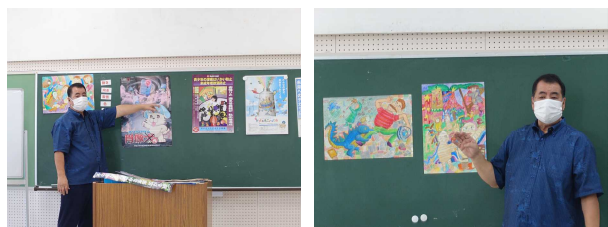
単元は、「体づくり運動」で、ねらいは「多様な動きをつくる運動遊びを通して、体を動かす楽しさを味わう」です。子ども達はのびのびと体を動かしていました。苦手な動きをする場合は、み

んなで協力して、みんなが温かい気持ちになる場面もありました。大矢先生、巢立先生、ありがとうございました。



先生方の図画工作の校内研修

夏休みに校内研修を開催し、下地操先生を招聘して「図画工作科の指導について」学びました。図工の授業について、出来た作品でなく、活動のプロセスを評価すること、そして、「なぜこの色にしたのか、この材料にして、この形にしたのか」という問いに答えられる子どもを育てましょう」とそして、「生活の中で日頃から『造形的な見方・考え方』つまり、形や色、材料、光などの造形的な要素に着目し、この視点を豊かにしていく子ども達を育てましょう」ということなどを、沢山の資料を元にお話ししてくださいました。実際に各学年の図工の時間にも入って指導をいただきました。下地操先生、ありがとうございました。



運動会の練習、がんばっています。

運動会の練習では、保護者のみなさまの支えがあって、子ども達は頑張っていると感じます。「もうすぐ運動会、おうちの人が見に来るんだよ」と嬉しそうに話すお子さんもいます。どうぞ、おうちの方でも、子ども達の頑張りを褒めて、励ましてあげてくださいね。よろしくお願いします。